

成績概要書（2008年1月作成）

課題分類：

研究課題：平成19年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫（植物防疫事業）

担当部署：北海道病害虫防除所、中央農試生産環境部予察科・病虫科、
環境保全部クリーン農業科、上川農試研究部病虫科、道南農試研究部病虫科、
十勝農試生産研究部病虫科、北見農試生産研究部病虫科、
花・野菜技術センター研究部病虫科、技術普及課、北海道農業研究センター

担当者氏名：

協力分担：全道農業改良普及センター

予算区分：補助（農林水産省）、道費

研究期間：2007年度（平成19年度）

1. 目的

平成19年度に実施した調査および試験研究結果から、特に留意を要する病害虫について注意を喚起する。

2. 方法

- 1) 農作物有害動植物発生予察事業
- 2) 突発および新発病害虫診断試験および調査
- 3) 各種の試験および調査

3. 成果の概要

1) 平成19年にやや多～多発した病害虫

- (1) 水 稲：イネドロオイムシ
- (2) 小 麦：ムギキモグリバエ
- (3) 大 豆：マメシンクイガ
- (4) 菜 豆：菌核病
- (5) ばれいしょ：そうか病
- (6) てんさい：褐斑病
- (7) たまねぎ：乾腐病
- (8) ね ぎ：ネギアザミウマ
- (9) キャベツ：コナガ、ヨトウガ
- (10) だいこん：キスジトビハムシ
- (11) りんご：モモシンクイガ、キンモンホソガ、ハダニ類

2) 平成20年度に特に注意を要する病害虫

- (1) 小麦のムギキモグリバエ
- (2) 大豆のマメシンクイガ

3) 新たに発生を認めた病害虫

(1) はとむぎ・かぼちやのシラフヒョウタンゾウムシ (新寄主)

Meotiorhynchus querendus Sharp

(2) トマトの葉かび病 (新レース) *Fulvia fulva* (Cooke) Ciferri

(3) はくさいのしり腐病 (新発生) *Rhizoctonia solani* Kuhn

(4) はくさい結球部のタネバエによる被害 (新症状) *Delia platura* (Meigen)

(5) だいこん根部のアシグロハモグリバエ (新症状) *Liriomyza huidobrensis* Blanchard

(6) ほうれんそうのシロイチモジヨトウ (新寄主) *Spodoptera exigua* (Hbner)

(7) ねぎの葉枯病の黄色斑紋病斑 (新症状) *Stemphylium vesicarium* (Wallroth)

E.Simmons

(8) いちごの炭疽病菌 *Colletotrichum acutatum* による萎凋症状 (新症状)

Colletotrichum acutatum Simmonds ex Simmonds

(9) いちごのツマグロアオカスミカメ (新寄主) *Apolygus spinolae* (Meyer-Dur)

(10) いちごのキンケクチブトゾウムシ (新寄主) *Otiorhynchus sulcatus* Fabricius

(11) アスパラガスのツマグロアオカスミカメ (新寄主) *Apolygus spinolae* (Meyer-Dur)

(12) 食用ゆりのカタクリハムシ (新寄主) *Sangariola punctatostriata* (Motschulsky)

(13) くりのクリミガ (新寄主) *Cydia kurokoi* (Amsel)

(14) ハスカップのハマナスホソバヒメハマキ (新寄主) *Lobesia yasudai* Bae et Komai

(15) カーランツのスグリコスカシバ (新称・新発生) *Synanthedon tipuliformis* (Clerck)

4. 成果の活用面と留意点

ここに記載した病害虫について、特に今後の発生動向に注意する。

5. 残された問題とその対応

1) 各種病害虫の要防除水準の設定

2) 簡易な調査方法とモニタリング手法の改善

3) 発生変動要因の解明と発生予察法の改善

4) 病害虫発生情報の収集および伝達の迅速化